

参加者の皆様へお知らせとお願い

1. 参加費受付日時

参加受付は倉敷市芸文館 本館1階の総合受付にて行います。

6月4日(木) 17:00～19:00 (別館1階『アイシアター』前にて受付)

6月5日(金) 8:30～18:30

6月6日(土) 8:30～14:00

2. 参加費

一般(会員/非会員).....8,000円

学生(大学院生も含む).....6,000円 ※ 学生の場合は、学生証をご提示ください。

3. 全員懇親会

日 時: 6月5日(金) 19:30～21:00

会 場: 倉敷アイビースクエア『アイボリー』

4. プログラム・抄録集

当日必ずご持参ください。

抄録集は、1冊2,000円で総合受付にて販売いたします。

5. 総会・表彰式

6月6日(土) 14:30より第1会場『ホール』にて開催いたします。

6. 各種会場

■ 第1会場『ホール』(本館1階)

■ 第2会場『アイシアター』(別館1階)

■ 第3会場『202会議室』(別館2階)

■ ポスター会場 本館1階ロビー

■ 展示会場..... 本館1階ロビー

■ クローク..... 本館2階ホワイエ

6月4日(木) 17:00～19:30

6月5日(金) 8:30～19:30

6月6日(土) 8:30～16:00

■ PC受付..... 本館1階ロビー・別館1階ホワイエ

6月5日(金) 8:30～18:30

6月6日(土) 8:30～14:00 (別館は12:00まで)

※ PC受付でのデータの修正はご遠慮ください。

7. 呼び出し・メッセージ

1. 会場内での呼び出しはいたしません。総合受付周辺に伝言板を設置いたしますので、ご利用下さい。
2. 講演会場内での携帯電話の使用はご遠慮下さい。会場内では電源をお切りになるか、マナーモードに設定して下さい。
3. 主催者の許可無く、会場内での写真撮影・ビデオ撮影・録音等は一切お断りいたします。

8. 新入会・年会費の受付

新入会・年会費受付にて行っております。

9. 市民公開講座（骨量測定）

日 時：6月6日(土) 12：50～15：30

会 場：『203会議室』（別館2階）、第2会場『アイシアター』（別館1階）

10. ランチョンセミナー・イブニングセミナー

「ランチョンセミナー」では弁当をご用意いたします。当日朝に整理券を配布いたします。

セッション終了後、弁当の空き容器などは会場前のダンボール箱にお入れ下さいますよう、お願いいたします。

「イブニングセミナー 1」には情報交換会がございます。

「イブニングセミナー 2・3」には軽食等のご用意はございません。

11. 企業展示・ドリンクコーナー

日 時：6月5日(金) 9：00～18：00

6月6日(土) 9：00～14：00

場 所：本館1階ロビー

12. その他

1. 会場内は禁煙です。
2. 駐車場は台数が限られておりますので、公共交通機関をご利用下さい。なお、駐車場は有料です。

座長の方へ

1. ご担当セッションの開始15分前までに講演会場内次座長席にご着席ください。
2. 発表時間、討論時間を厳守し、円滑な運営にご協力をお願いいたします。

発表者の方へ

■ 講演発表について

- 1) 指定演題・共催セミナーの講演時間は、座長の指示に従ってください。
- 2) 一般口演は、発表7分・質疑応答3分です。
時間厳守での発表・討論をお願いいたします。
- 3) 口演発表は、PowerPointによるPC発表のみとします。
- 4) 発表用スライドにて利益相反状態の開示を行ってください。記載方法詳細は大会ホームページにてご確認ください。
- 5) **発表者は、セミナー開始の1時間前までにPC受付にて受付と試写をお願いします。**
早朝のセッションは、開始30分前までにお願い致します。
- 6) 発表セッション開始10分前までに会場内前方の次演者席にご着席下さい。
- 7) PC操作については、舞台上に液晶モニター、キーボード、マウスをセットいたしますので、ページ送りはご自身で行って下さい。PC本体持ち込みの場合も同様です。
- 8) タブレット端末を用いての発表はご遠慮下さい。

■ PCセンターでの発表データ受け付けについて

- 1) 発表データをUSBまたはCDへ保存した後、事前に別のパソコンにコピーして正常に動作することをご確認ください。
- 2) 受付されたデータはサーバーへ登録させていただき、USB・CDはその場で返却致します。
PC内にコピーした発表データは、発表終了後学会事務局で責任を持って削除致します。
- 3) 発表前のファイル名は「演題番号+氏名」としてください。
(例：S1-1_岡山太郎.ppt、O1-1_岡山花子.ppt)
- 4) USBメモリまたはCDには発表データのみを保存してご持参ください。
- 5) 事務局で用意するパソコンのOSは、Windows7です。
プレゼンテーションソフトは、Microsoft PowerPoint 2010、2013をご用意します。
他のWindowsのバージョンやMacintoshで作成された場合は、必ず上記環境で動作確認済のデータをお持ちください。
- 6) 文字フォントはOSに設定されている標準的なフォントをご使用ください。
特殊なフォントの場合、表示のずれ、文字化けが生じることがありますのでご注意ください。
[推奨フォント] 日本語：MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝
英 語：Arial、Times New Roman
- 7) お持ち込みデータによるウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトでチェックを行ってください。

■ 動画持ち込み、またはMacintoshをご使用の方へ

- 1) 動画持ち込みの場合、またはMacintoshをご使用の場合にはご自身のパソコンをご持参ください。画像の解像度はXGA (1024×768、60Hz) です。このサイズより大きい場合、スライドの周囲が切れたり、映らない場合がありますので、そのサイズ以外の解像度の使用はお控えください。お持ちいただくパソコンの機種、OS及びアプリケーションソフトの種類は問いません。
- 2) 会場のプロジェクターへは一般的な外部出力端子 (D-sub15ピン) での接続となります。Macintoshや小型パソコンではRGB変換コネクタを必要とする機種がありますので、D-sub15ピンへの変換コネクタを忘れずにご持参ください。ACアダプターを必ずご持参ください。また、念のためUSBメモリにてバックアップデータをご持参ください。
- 3) 動画は可能ですが、本体の液晶画面に動画が表示されてもPCの外部出力に接続した画面には表示されない場合があります。**必ずPCセンターにお立寄戴き、実際に使用するPCの外部出力にモニターまたはプロジェクターを接続してご確認ください。**
- 4) スクリーンセーバーならびに省電力設定・パスワード設定は事前に解除しておいてください。
- 5) PCセンターで動作確認を済ませられたPCは、発表20分前までに、発表会場の前方のPCオペレーター卓までご自身でお持ち下さい。
- 6) 発表終了後、オペレーター卓でPCを返却いたしますので、お立ち寄り下さい。
- 7) PCのトラブルによる映像の投影が不可能となっても、事務局では責任を負いかねます。

若手研究者賞ポスター展示について

若手研究者賞受賞者にはポスター展示を行っていただきます。

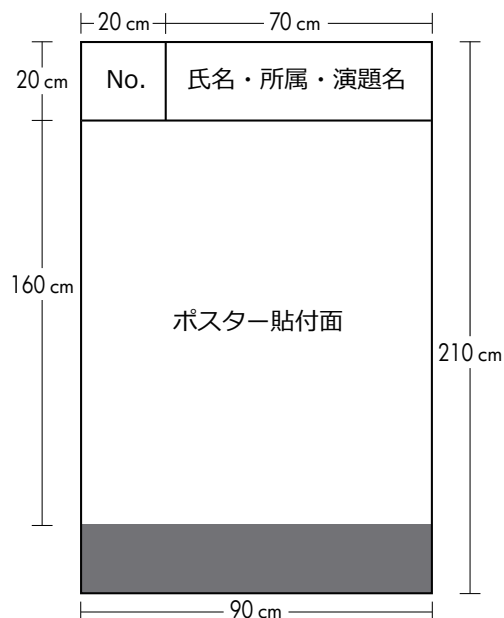
ポスターは自由閲覧とし、発表・討論は行いません。

ポスターパネルは幅90cm、高さ210cmのパネルを用意いたします。

下記の図を参考に、幅90cm、高さ180cm (但し上部20cmは氏名・所属・演題名を記載して下さい) で作成して下さい。演題番号と掲示用画鋏は事務局で用意いたします。

◆ ポスター貼付時間：6月4日(木) 16:00~18:00

◆ ポスター撤去時間：6月6日(土) 14:00~15:00



学会雑誌投稿のお願い

発表された演題は、日本骨形態計測学会雑誌に投稿ください。
投稿原稿はコピー 2部 (図・表を含む) を学会当日、総合受付にご提出ください。
(遅れる場合は、9月末までに、川崎医科大学 放射線医学(核医学)教室内
日本骨形態計測学会雑誌編集長 曾根 照喜 宛にお送りください)

〒701-0192 倉敷市松島577
川崎医科大学 放射線医学(核医学)教室内
日本骨形態計測学会雑誌編集長
曾根 照喜 宛

日本骨形態計測学会雑誌投稿規定

1. 目的

本誌は骨を形態学的、定量的に取り扱った研究の成果を掲載することを目的とする。

2. 原稿内容と査読

- 1) 原稿の内容は他紙に掲載されていないものに限る。
- 2) 投稿された原稿は、編集長が依頼した委員によって査読される。

3. 原稿の投稿、採否

- 1) 投稿原稿にはコピー 2部 (図・表を含む) を添付する。掲載が決定した後に原稿の内容が記録された電子記憶媒体 (CD-Rなど) を提出する。提出の条件については別に定める。
- 2) 原稿の採否は、査読の結果を参考にして、編集長が決定する。
- 3) 掲載された投稿原稿は原則として返却しない。

4. 原稿の様式

投稿原稿は次の様式に従って執筆する。準拠しない原稿は加筆、訂正を申し入れる。または却下する場合がある。

- 1) 原則として和文の原稿を受け付ける。
- 2) 和文原稿は、横書き、新かなづかい、常用漢字で記載する。
- 3) 外国語の人名、地名、学名はタイプまたはブロック体で記載する。ただしカタカナでもよい。
- 4) 英文原稿は、double spaceでA4用紙を用いる。
- 5) 原稿には表紙をつけ、表題、著者名、所属機関名 (以上英文付記)、表および図などの数を書く。
- 6) 和文原稿、英文原稿、いずれにも英文抄録 (400語以内) と和文抄録 (800字以内) をつける。併せて5語以内のKey words (英語、日本語併記) をつける。本抄録とKey wordsは論文の冒頭に掲げるため内容の表現に注意する。
- 7) 記載の順序として、
和文原稿では、 和文題名、和文著者名、和文所属先名、Key words、和文抄録、本文、文献、
英文題名、英文著者名、英文所属先名、英文抄録の順とし、
英文原稿では、 英文題名、英文著者名、英文所属先名、Key words、英文抄録、本文、文献、
和文題名、和文著者名、和文所属先名、和文抄録の順とする。
- 8) 図は腰の強い白紙または薄青色方眼紙に清書した原図、ないしはそれに準じた鮮明なプリントを提出すること。表題および図中の文字はなるべく英文とする。すべての図表は本文中に挿入すべき場所を原稿の欄外に朱字で指定すること。なお、製版のため不相当と認められる図は書きかえることがあるが、その際の実費は著者負担とする。
- 9) 文献は引用順とし、末尾文献表の番号を片括弧を付けて右上肩に記す。
例：合田ら¹⁾によれば

文献引用の例

雑誌の場合は、全著者名：表題，雑誌名，巻数，頁-頁，年号の順に記す。

- 1) 合田忠，坂本龍夫：抗酸菌の中性紅反応に関する一考察，結核，42，279-283，1967.
- 2) Pell S, D'Alonzo CA : Chronic disease morbidity and income level in an employed population, Amer J Public Health, 60, 116-129, 1970.

1) 2) の註：原則として号数は記載しない。ただし通巻頁のない場合は号数を記すこと。
雑誌名はその雑誌が使用している略号とする。

単行本の場合は、編・著者名：書籍名、頁、発行所、同所在地(発行地)の順に記す。

- 3) 中川一郎，二国二郎，吉川春寿：新栄養学，p.497，朝倉書店，東京，1963.
- 4) Grundy F : Preventive Medicine and Public Health, HK Lewis and Co.Ltd., London, 1960.
- 5) Feldstein M : In "Progress in Chemical Toxicology, Vol.1" (Stolman A ed.), p.331. Academic Press, New York and London, 1969.

3) 4) 5) の註：引用箇所の数値を示すこと。ただし内容を全般的に引用する場合は頁数を略してもよい。

10) 本雑誌の単位符号は原則としてSI単位を用いる。(JIS Z8203参照)

- 例： 1) 長さ km, m, cm, mm, μm , nm (特殊な分野ではA)
面積 km^2 , m^2 , cm^2 , mm^2 , (ha, a)
体積 m^3 , cm^3 , mm^3 , l, dl, ml, μl
- 2) 質量 kg, g, mg, μg
- 3) 時間 d (日), h (時), min (分), s (秒), ms, μs

5. 掲載料

- 1) 組み上がり原稿5頁以降の超過料を著者負担とする。またカラー図掲載の場合は実費とする。
- 2) 超過料および掲載料はこれを別に定める。

6. 別刷

別刷は100部まで(30部、50部、100部)とし、費用は著者負担とする。100部以上の別刷については問い合わせること。

7. 校正

著者校正は原則として初校のみとする。組版面積に影響を与えるような加筆、変更は認めない。

8. 原稿送付先

〒701-0192 倉敷市松島577
川崎医科大学 放射線医学(核医学) 教室内
日本骨形態計測学会雑誌編集長
曾根 照喜 宛